

取組事例

(**所定外労働削減**・**年休取得促進**・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名：トランスコスモス(株)	所在地：沖縄県那覇市(本社：東京都渋谷区)
社員数 13,918 名(18年12月末)	業種：情報サービス業



取組の目的：

「Global Digital Transformation Partner」を目指し、事業拡大とグローバル展開を加速し付加価値の創造を継続的に行っていくための源泉は、“人材”という考え方をもとに、性別・年齢・国籍・障がいの有無など、多様なバックグラウンドをもった社員一人ひとりが、やりがいをもって能力を最大限に発揮できる職場環境の実現を目指す。

取組の概要：

〈現在の取組〉

○生産性向上に向けた時間外労働の削減

- ・各事業所から生産性向上につながるベストプラクティスツール・事例を集約し、厳正な審査の結果、優秀な事例は表彰し、全社展開して活用している。
- ・心と身体のケアとして、繁忙に伴い時間外労働が増加した場合は、人事面談と合わせて、産業医面談を実施するなど、社員の健康確認を実施している。

○年次有給休暇の取得促進

- ・休み方改革や年次有給休暇を取得しやすい環境整備のため、ポスターやリーフレットの活用等による啓蒙活動を展開している。
- ・働き方法案可決より前倒しで、「年5日」以上の有給休暇の取得を促進しており、最低5日以上を必ず取得させている。
- ・年次有給休暇の取得が少ない場合、労働組合と協働で計画的取得を目指し、労使での対象者面談および職場環境の整備・改善を実施している。

○仕事と家庭の両立

- ・産休・育休からのスムーズな復職をサポートし、継続してキャリア形成できる風土醸成のため、本人及び管理職を対象とした様々な支援（社員・管理職向け研修、両立支援ハンドブック（正社員用、契約社員用、管理職用）を実施・展開している。
- ・様々な両立支援制度の整備（配偶者出産特別休暇、時差差出勤制度、積立休暇制度（法定上失効する有給休暇を最大40日まで積み立てて、必要に応じて使用できる）、延長育児短時間勤務制度（子が小学校3年生終了まで短時間勤務ができる※取得要件有）業務内容や配属場所が多岐に渡るため、一律の制度としてではなく、それぞれ各部門の裁量で多様且つ柔軟なシフト勤務やテレワーク（在宅勤務など）を運用、託児施設の設置）

- ・ワークライフバランス促進イベントの実施（ママフェスタ、ママランチ、ランチ勉強会、家族イベント等）

〈今後の取組〉

- ・有給休暇の個人取得率引き上げ（目標：2020年までに70%）
- ・時間外労働の削減（月45時間を超過しない・させない取り組み）

現状とこれまでの取組の効果：

- 年次有給休暇取得率：62.1 %（2017年度）
- 女性の育児休業取得率：100 %（2017年度）
- 男性の育児休業取得者：9人（2017年度）
- くるみん認定（次世代育成支援対策推進法認定マーク）取得（2017年3月24日）
- えるぼし認定（女性活躍推進法認定マーク）取得（2016年8月30日）

(H31.3)